

Avant-Propos はじめに

日本に来るフランス人観光客にお目にかかる時、まずは挨拶と自己紹介から始まります。ボンジュール・マダム、ボンジュール・ムッシュ。私はあなた方のガイドです。

フランス人は日本人の名前を覚えるのが苦手なので、たいがいのガイドはニックネームを使います。ぼくは、自分のファースト・ネームを縮めて「Tomo」。「Tomo」ですよ。「moto」（オートバイ）ではありませんよ」とやんわりと言うのですが、かならず「moto」と呼ぶ人が現れます（笑）。そこで、こう説明します。「日本人の名前にはだいたい、意味があります。「Tomo」（智）は、知恵「sagesse」という意味です。そのうちわかっていただけたと思いますが（笑）「Ça ne se voit pas encore.」。 「ガイドのTomo」で、「Guide Tomo」、この本のタイトルです。

世界各国の観光客の中で案内するのがもっとも難しいといわれているのが、フランス人だそうです。すぐどこかにいなくなってしまう、集合時間には集まらないし、文句ばかり言ってるし、理屈っぽいし……うーん、たしかにそういう面もあるけど、ゲームのようなもので、コツをつかむと知的スリルがあって楽しい。そういうフランス語ガイドの「智」を、この本で味わっていただけたら嬉しいです。

もともとは日記としてサイトに綴っていたものなので、おおよそは時間の順に並んでいます。初めから通して読んでいただくのがよいのですが、ある特定のテーマについて知りたい時（病人が発生した、忘れ物が出た、誰かがパスポートを紛失した、とか）は、目次から関連した項目を探して見ていただくと、役に立つことが書いてある場合もあります。

参考になるサイトもいろいろ紹介したかったのですが、紙面のスペースの都合で少数のものをのぞいては割愛せざるを得ませんでした。カットしたURLのリストは、

<http://gtpweb.net/links/guidetomojapon.htm>

にアップしてありますので、本書と合わせてご覧ください。

途中に登場する「しま」さん、「ラメール」さん、「Mizumizu」さん、「tsuru」さんは、サイトでのハンドルネームで、みなフランス語ガイドの同僚（先輩後輩）です。数々の温かい激励やアドバイスは、どれもありがたいものばかりでした。この場を借りてお礼申し上げます。そして、困難な時も楽しい時も、いつも見守ってくれているバッカスの神に、乾杯！